

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取県立倉吉東高等学校

重点項目	探究学習重点校	提出日	令和4年12月21日
------	---------	-----	------------

1 学校目標
世界市民として、豊かな文化の創造、民主的な社会及び平和的な国際社会の形成に進んで貢献することのできる、知・情・意を兼ね備えた、自主的・自律的で、生きる力に満ちた生徒を育成する。
2 重点項目に係る目標
<p>・アナログとデジタルをバランスよく活用して知識や技術を身につけ、それらを日常生活や他教科と横断的に結びつけながら探究的に学ぶことにより、グローバルリーダーとして活躍できる人材の育成を図る。</p> <p>・社会奉仕と環境問題に取り組み、地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、生徒が主体的に地域貢献・国際貢献が行えるような指導を行う。</p> <p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none">・高校生国際シンポジウム出場 5グループ以上・REHSE 高校生環境教育発表会全国大会出場・鳥取県理数探究発表会入賞・1年次総合的な探究の時間（ミニ探究）とIB教育の手法との融合させた試行授業の実施回数5回以上・科学の甲子園2チーム出場、県内3位以上。・各大学等主催コンテスト入賞5名以上 <p>（例：観光甲子園（観光庁後援）小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト（慶応義塾）、未来健康ビジネスコンテスト（早稲田大学）、高校生小論文・スピーチ動画コンテスト（自治医科大学）、生物チャレンジ（国際生物学オリンピック委員会JOB主催）など）</p> <ul style="list-style-type: none">・気候変動プロジェクト（Climate Action Project）参加
3 事業計画（事業名、事業概要）

【高等学校課事業】

■新しい学びの創造事業

○「主体的・対話的で深い学び」教員スキルアップ事業

大学の教育学の観点から理論を学ぶとともに、探究的な学びの必要性について共通認識を図りながら、大学教員の指導を受けた高校での事例や大学での学び方を参考にし、本校における学習指導の再構築に取り組む。

講師（予定） 大阪大学全学教育推進機構准教授 佐藤 浩章 氏

○生徒の思考力・判断力・表現力の強化のためのハイレベル講座

国際バカロレアのコア科目である TOK（知の理論）を基盤とした「知識」や「ものの見方、考え方」について生徒の理解を促進する。多様な情報があふれる社会において、情報の真偽やその背景に迫りながら、自己の考えをまとめ発表する力を育む。

講師1（予定） 玉川大学大学院准教授 カメダ クインシー 氏（プレゼンテーション）

講師2（予定） 灘中学校・高等学校教諭 井上 志音 氏（展示）

【独自事業】

■探究的な学び推進事業

○探究活動の実施

活動にともなうテキスト、実験器具、試薬、道具、書籍、文具等の消耗品を購入し、探究活動を実現させる。

○探究活動の充実

- ・大学研究室訪問、地域における探究活動

探究活動の動機付けや活動内容について質疑応答の時間をもち、探究活動をより深化させることを目的に、講座単位での大学研究室訪問を行う。また、地域の特色や諸問題に関する探究を行うグループは、校外に出て実地でのリサーチを行う。その他のグループについても地元にある大学施設、研究施設、企業を訪問し、学びを得る。

- ・外部大会への応募、発表会参加

生徒に県内外で行われる学会やコンテストでの成果発表への積極的な参加を促し、探究的な学びの深化と他の生徒への刺激を目指す。

○中間発表会

探究活動の中間発表会をポスターセッションの形式で行う。発表後の探究活動がより充実したものになるような助言や反駁を得るために、大学教授等の有識者を招聘する。

○成果発表会

探究活動の成果発表会は、地域住民の方や保護者も対象にして開催する。ポスターセッションの形式で行うことで発表者と聴衆を近づけ、探究内容に関する活発な質疑応答を通して深い交流を行うとともに、本校生徒と海外高校生とが共同研究を行い、スライド発表形式で成果発表会参加者全員に対して成果発表を行う。

○逆引き設計教職員研修会

探究的な学びが各教科・科目でも実践できるよう、教科の目標・目的から個々の授業を展開

(様式1)

する「逆向き設計 (Backward Design)」に係る教職員研修会を実施する。探究的な学びが本校の教育活動を支える「カリキュラム・マネジメント」の中心となる機会とする。

■教職員教育力向上事業

○教科指導先進校視察 (Google Workspace 活用推進事業の先進校視察と兼ねる)

授業でのICT機器の活用、教科内での探究的な活動の推進、カリキュラム・マネジメントによる教科横断的な授業、生徒の学びを変える評価方法等について優れた実践が行われている高校を視察し、学んだ内容を本校の教育活動の改善に生かす。

○教職員の大学訪問

大学における初年度教育を通じて学生が身につける学習スキル (ICT活用スキル等) や図書館等でのメディア活用スキル (レポートの書き方等)、情報収集スキルを見据えて、高校卒業時に身に付けておくべき学習スキルなどについて、大学訪問を通じて直接教授から話を聞き、生徒に還元する。

■社会につながる体験事業

○著名人講演会

各界で活躍している著名人の講話をとおして、鳥取県で活躍するリーダー育成はもとより、日本や世界でリーダーシップを発揮できる人材として成長できる契機とする。講演会終了後に、講師と希望する生徒との座談会を実施する。

※枚数任意